

施政方針 を問う

令和5年第1回定例会

代表質問での質疑・答弁【要旨】

各会派等から代表質問を行った議員が、一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。

二次元コードから各会派等の代表質問の録画配信へアクセスできます。(6月8日まで)
紙面の都合上、実際の代表質問と異なる順番で記載しています。自由民主党市議団、立憲・市民フォーラム、日本共産党国分寺市議団、公明党、無会派(国分寺・生活者ネットワーク)、無会派の順で行いました。

笑顔で安心した生活が送れる市政運営を

1. コロナ対策と物価高騰への対応について

森田 新型コロナウイルス感染症対策について5類への移行などの政府方針を踏まえ、国分寺市としてどのように対応していくか。併せて物価高騰に対する市の対応について伺う。

市長 コロナ対策は今後とも緩めることなく進めていく。一方、日々の生活を元通りに近いものにしていく対応も必要と考えている。今までの経験を踏まえ、多様な対策を加えながら、市民・事業者のご協力を得つつ進めていく。物価高騰については社会情勢や経済情勢に応じ、適時適切に必要な支援を行っていきけるよう市政を進めていく。

2. 高齢者施策について

森田 デジタルデバイド(情報格差)対策及びフレイル(筋力等低下)予防について伺う。

市長 デジタルデバイドをなくすため、スマートフォンの講習に加え、諸々の機会に使用方法を学べる環境をつくっていききたい。またフレイル予防ではデジタル機器を導入し、体力測定会等で歩行姿勢を映像で分析することにより、健康増進に向けた助言を行う。

3. 教育環境整備について

森田 法改正により公立小学校の学級編制が段階的に35人以下に引き下げられることになっているが、現状と今後の市の対応について伺う。

教育長 令和9年度当初までの間に最大27学級の増加を見込んでいる。普通教室に不足が見込まれる各学校において、計画的な学校施設整備を進めていくことで、全ての市立小学校の35人学級への円滑・着実な移行を進める。

4. 防災について

森田 本年は関東大震災から100年となる節目の年で、ハード・ソフトの両面から自助力、共助力、公助力の強化につながる施策を推進する必要がある。家庭用防災備蓄品の購入費用の一部助成を含め、防災対策における市長の考えを幅広く伺う。

市長 首都直下地震の本市の被害想定では、最大で約1万8,000人の市民の方々が避難所を利用すると算出されている。市としては在宅避難もお願いしている現状から、防災備蓄品の購入費の補助を実施していく。また、防災情報の発信については、防災無線の放送内容を迅速に安

自由民主党市議団 森田 たかし



全・安心メールで配信する仕組みを整える予定である。さらにはドローンを高所カメラのように活用して、市内の被害状況を早期に把握できるようにする。

5. まちづくりの進め方について

森田 庁舎移転を控え、緑と静かな住環境が残る西国分寺駅北口から恋ヶ窪駅までを1つのエリアと捉え、にぎわいを創出していくことが重要と考えるが、まちづくりの進め方についての市長の考えを伺う。

市長 点のにぎわいではなく、面のにぎわいを創出していききたいと考えている。現庁舎用地の利活用については、公共施設と民間施設から成る複合用途として、市民の交流や活動の拠点としていきたい。また西国分寺駅北口については、まちづくり計画に示す将来像の実現へ向けて、地域の方々と意見交換会を重ねていくことで、具体的な整備イメージや事業手法等について検討を深めていききたいと考えている。

市民とともに協働推進による市政運営を！

◆**新型コロナウイルス感染症対策**が始まって3年、行動制限も緩和されるようになるので、感染症対策の総括を。市長)3年間の記録は、市の対応経過としてまとめに着手。今後とも必要な対策に努め、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えたまちの活性化に取り組んでいく。◆**市内事業者・農業者の経営**は大変厳しい状況、事業の効果及び今後の課題は。市長)引き続き経済動向等を注視し消費喚起等による売上げの増加や生産コストの負担軽減の経営施策について検討を進める。◆**空き店舗や空き家対策、住宅確保要配慮者等**に対する居住支援について。市長)空き店舗対策は、国分寺市商工会等と連携し地域ネットワークの確立と創業支援等での活用を含めて最適なスキームの構築に向けて検討。空き家対策は空き家相談員事業や市と商工会の支援を行うなど方策を模索。住宅部門と福祉部門で情報共有を行いながら要配慮者のニーズ等を把握し、何が最適な対応なのか検討を始めた。◆**強靱なまちづくり**について、ハード・ソフトの両面必要。コミュニティの醸成、ソフト面の視点は。市長)家庭用防災備蓄品の購入

費補助事業や防災フェスタ事業を通じて自助力の強化。特に防災まちづくり推進地区への支援の充実などは共助力の強化につながる。◆**政策部に環境経営担当の配置**について。市長)全ての事業に対してチェックを入れ、対策ではなく政策的な環境経営担当という部署として設けた。様々な施策を環境の視点で見直して、行政全体を改革する仕組みを確立しグリーントランスフォーメーションを強力に推進したい。

◆**西国分寺駅北口駅前エリアの整備と西国分寺駅50周年事業**について。市長)具体的な整備イメージや事業手法等の検討を深める。駅50周年事業は、JRが主体になり市も積極的に関わり、駅周辺の事業者の方々も協力いただきイベントを開催する。◆**ヤングケアラー支援**について**実態把握の要望**と相談支援体制の強化を求める。市長)調査は考えていない。子ども家庭支援センターにヤングケアラー・コーディネーターを配置し、理解啓発に努め、相談支援体制の充実を図っていく。◆**児童発達支援センターの相談支援事業**のみのアウトソーシングについて再考を求める。市長)民間の力も借りて、現状より

立憲・市民フォーラム はせべ 豊子



地域への支援機能を強化し事業を拡充、利用しやすい事業の展開を考えている。◆**学校教育のタブレット導入後の取組**と教員の負担軽減について。教育長)発達の段階や各教科等の特質に合わせて、児童・生徒の状況、ニーズに応じまして様々なタブレットの活用が行われている。ICT機器の活用で教員の負担軽減も含め、効果的・効率的な活用の支援を進める。◆**戸倉公園整備**について**市民参加型**で進めてほしい。市長)ボールを使えるキャッチボールができる公園は難しい。工夫し、協議いただきながら、市民説明会等実施や市民懇談会等も開催して意見を伺い研究したい。◆**「野川源流スクール」と野川の散策と懇談会事業**について。市長)野川ボランティアガイドに登録の方には、将来行われる野川散策に伴う案内や野川に関わるイベントへの参加と事務局のお手伝い、まちづくりと野川に関する懇談会は、別の内容で実施可能か検討を考えている。

すべての人を大切にするまち・国分寺へ！

木村=「すべての人を大切にするまち宣言」から一年。差別や誹謗中傷などは許さないという市民意識が生まれているか、市の認識は。**市長**=拉致被害者の曾我ひとみさんの講演会ではホールも満席だった。少しずつ互いを大切にする意識や理解が進んでいると受け止めている。**木村**=財政が厳しい中でも、新市庁舎建設を進める意義で、市民に一番伝えたいことは。

市長=新庁舎は災害対応拠点となる。いつ何時起きるかわからない震災に対し、やってあげばよかったとならないよう着実に進めていきたい。**木村**=昨年求めた市報フルカラー化が実現するが、期待される効果をどのように考えているか。**市長**=市民アンケートでも一番手取りやすい情報源との結果が出ている。フルカラー化で世代を問わず馴染みやすい紙面にしていく。

無会派 木村 徳



木村=デジタル機器を用いたフレイル予防を導入するが、会場へ来て頂くための方策が重要だ。**市長**=参加して良かったという感想を広げて頂くのが一番良いと思う。顔の見える関係を構築するツールにできればと考えている。